



比較的広い環境に適合し生息する。福井県内ではよく見かける。オス 2月 あわら市産 全長:約10cm

ハゼ科 ウキゴリ属 【最大全長】約13cm前後

ウキゴリ

学名: *Gymnogobius urotaenia*

分布域

北海道・本州・四国・九州に分布する。

生息域

河川の中流～下流域に生息し、泥底～砂礫底に広く生息する。



産卵期のメスは腹部が黄色。全長11cm

体形は細長い。鱗が小さく体の表面はヌルヌルする。成熟したオスは頭部が縦扁する。第1背鰭の後端に比較的明瞭な白黒の斑紋がある。体側には暗色斑が並ぶ。食性は動物食性で水生昆虫を中心に甲殻類・小魚などを食べる。産卵期は5～6月で、オスが平らな底石の下を掘って産卵室を造りメスを誘い、産卵室の天井面に産卵させる。産卵後もオスは産卵室に留まり、単独で卵を保護する。県内での生息環境は非常に広く、生息地・生息数とも多く普通種といえる。

水槽での飼育は容易。餌は甲殻類や小魚を食べるが、配合飼料にも反応する。丈夫だがやや気性が荒く、他種との混泳は避けたい。

在来種

回遊魚

※ 泥底～砂礫底部、止水～流水域、単独小河川～大河川、汽水～純淡水域など幅広い環境で視られる。福井県内では生息地・生息数とも多く、普通種といえる。